

## 新中学校校舎建設事業への充当について

### 【令和5年度検討結果】

- ・ できるだけ森林環境譲与税を充当し、施設の木質化を図る。 ※主に図書室
- ・ 森林環境に関する教育と合わせた事業展開が望ましい。
- ・ 施設部会や学習計画の際に、本委員会からの意見を検討材料として活用する。

### 【活用方針】

- ・ 建築完成予定の令和8年度に向けて、重点的に配分する。

### 【現状報告】

- ・ 新校舎建設の設計業務について、基本設計が終了し、実施設計に入っている。
- ・ 令和6年8月5日には、町の財産である町有林を有効に活用するため、JR東海他立会いのもと、峡南森林組合と町とで、「富士川町立富士川中学校新校舎建設に伴う町有林活用に関する協定」を締結した。
- ・ 令和6年8月までに、内外装や諸室の仕様について検討を進めてきた。
- ・ 現在は、積算業務を実施中である。

## 子育て支援に関する事業への充当について

### 【令和5年度検討結果】

- ・ 森林を大切な資源として次世代(こども・子育て世代)に継承することが必要。
- ・ ニーズ把握や実証事業を実施し、効果を検証したところで、事業を開始する。

### 【活用方針】

- ・ 令和7年度までは、新中学校校舎建設事業に重点的に充当し、検討委員会に諮りながら、今後の導入に向けて検討を進める。

### 【令和7年度実証事業(案)】

子育て支援課から町立保育所及び児童センターの職員にニーズ調査を行った結果次のような意見がありました。

#### (1) 富士川町児童センター 絵本収納ラック(本棚)

児童センターでは、放課後児童クラブの利用の他、子どもや子育て世帯向けの事業も実施しており、特に、乳幼児健康診査では、絵本に触れる機会を提供するために絵本コーナーを設置している。

そのため、木のぬくもりが感じられる木製の子ども向け絵本収納ラックを購入したい。

#### (2) 町立保育園 年長児用2人がけのテーブル

年長児が毎日使用するテーブルを木製にすることで、園児が木に触れる機会を設けることができる。また、木製家具にすることで、色味が自然と明るくなり、香りや感触の良さなどの木の特性を実感することができる。

今後、保育園の収納棚等の木質化を検討していきたい。

## 令和7年度以降 活用事業検討

## ●今後の検討項目

- ①重要インフラ隣接森林整備事業導入の検討
- ②路網整備の検討(優先度調査の実施)
- ③林業事業者への補助制度の検討
- ④町有林を活用した森林環境教育事業の検討
- ⑤スマート林業導入の検討
- ⑥農林大学校森林学科との連携事業の検討
- ⑦その他(①～⑥以外の事業)

※ これらの事業は、令和8年度以降の導入に向けて検討を続けていきたい。